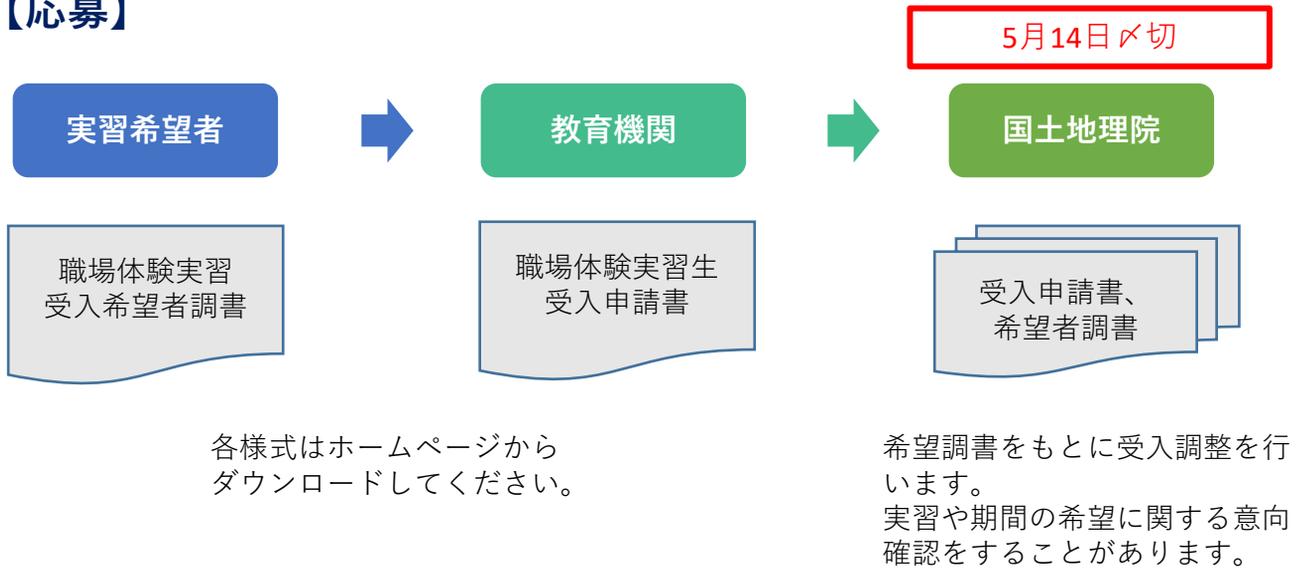


国土地理院で働く

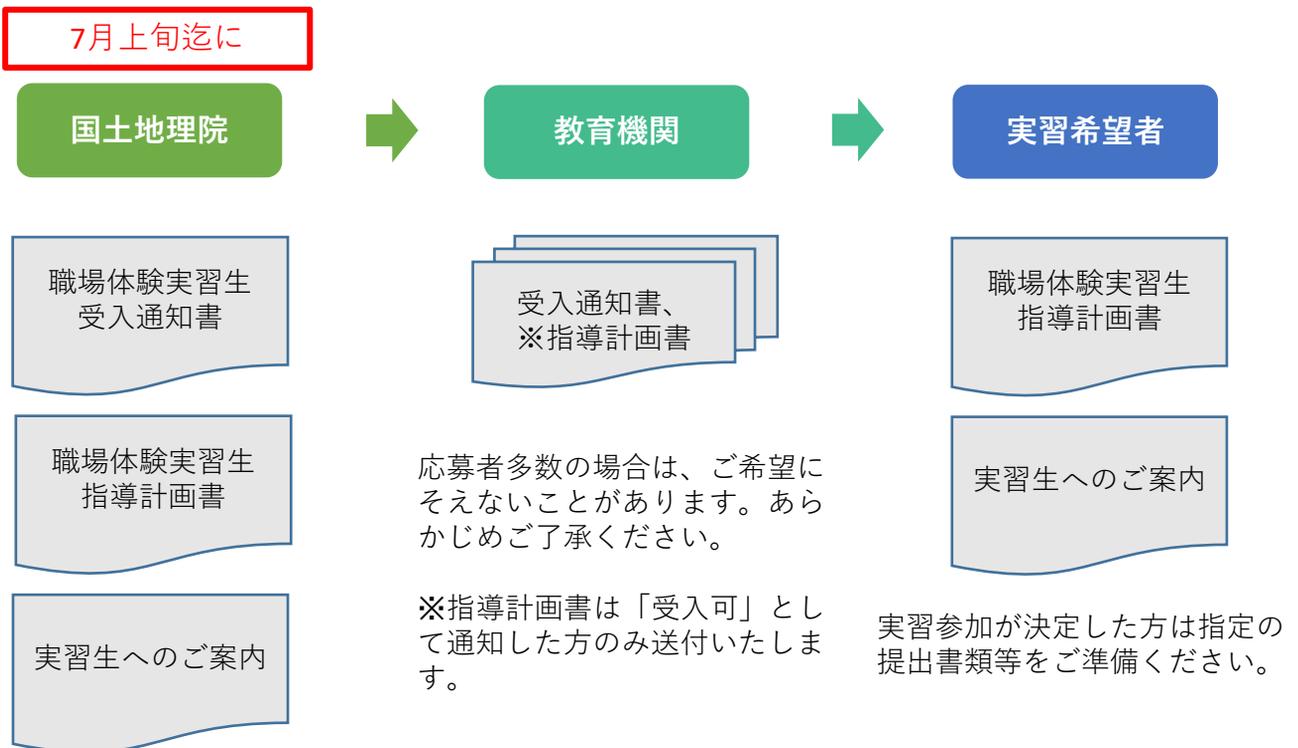
2024年度夏期
インターンシップガイド

インターン決定までの流れ

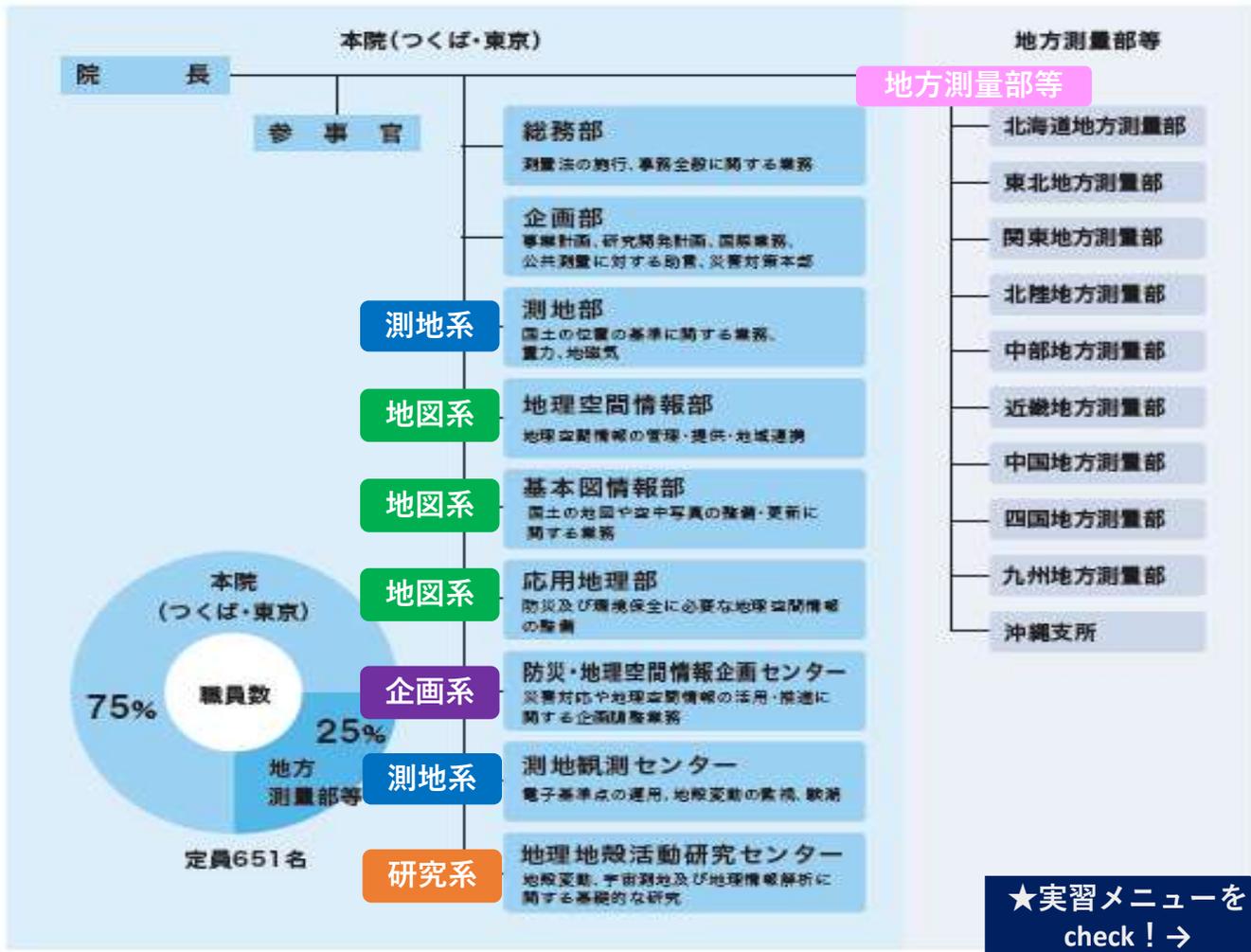
【応募】



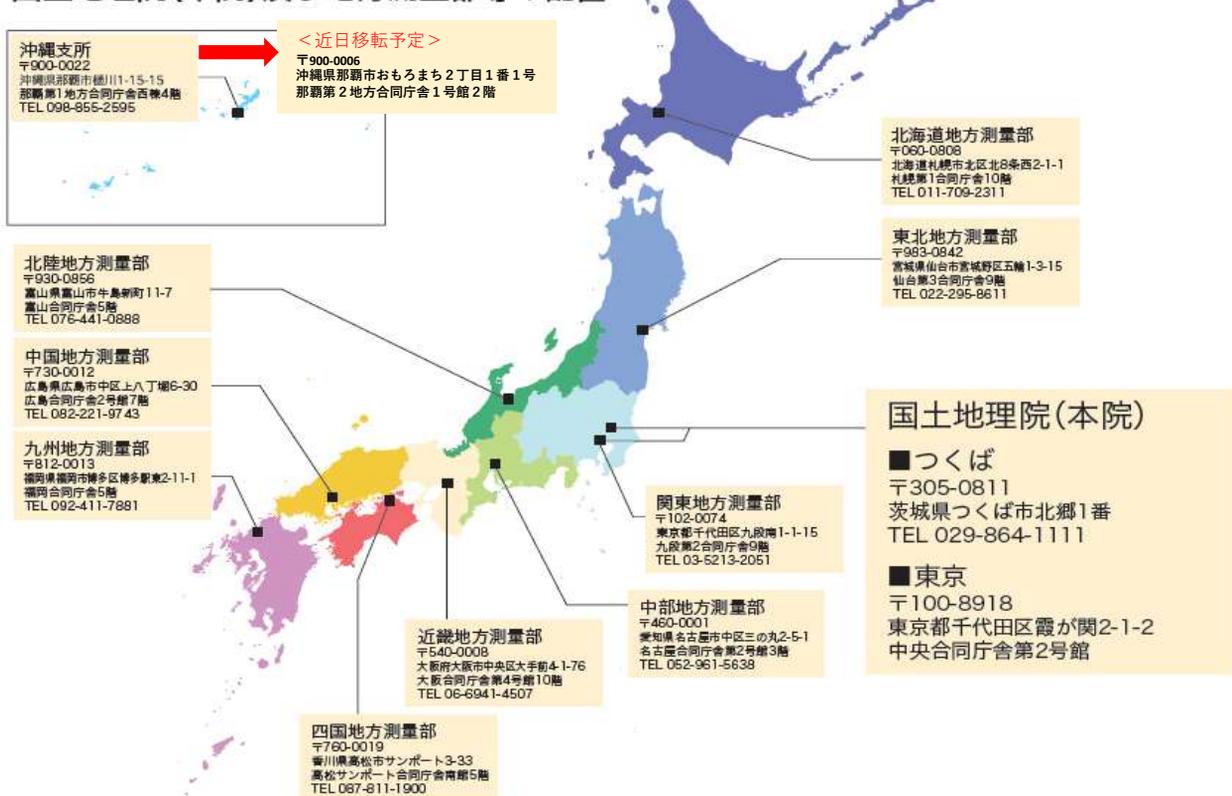
【決定】



組織及び主な業務



国土地理院(本院)及び地方測量部等の配置



実習 1

標高の維持・管理における宇宙測地技術の効果的な活用方法の検証 (本院・測地部測地基準課)

キーワード

高さの基準

水準測量

宇宙測地技術

基準管理

■実習概要

日本における高さ（標高）の維持・管理について、従来の水準測量に加えて宇宙測地技術を効果的に活用する方法を検証する。

■実習のポイント

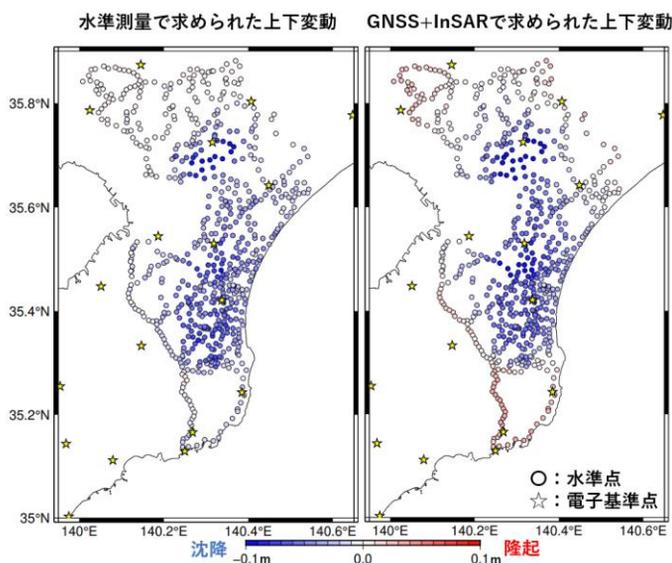
日本の標高体系は、これまで水準測量によって維持・管理されてきた。しかしながら、複雑な地殻変動のある日本では、時間分解能に課題がある。本実習ではこの課題を解決するため、新たに宇宙測地技術（GNSSや干渉SAR）の活用の可能性を探る。具体的には、GNSSや干渉SARのデータを解析して求められる時間・空間分解能の高い上下変動と従来の水準測量の結果を比較し、各々の技術の長所・短所を定量的に評価した上で、それらの技術に期待される役割の理解と、高さ基準の管理の将来像を議論する。

■実習期間 (5日間)

- ・ 令和6年8月26日(月)～ 8月30日(金)
 - ・ 令和6年9月2日(月)～9月6日(金)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ Linuxの操作ができる（基礎的なコマンドの知識がある）ことが望ましい



▲水準測量の様子

◀水準測量と宇宙測地技術により求められた上下変動の比較（千葉県の例）

■こんな方におすすめ

- ・ 高さ（標高）の基準管理に興味がある方
- ・ 最新の測量技術に触れてみたい方

■測地基準課の業務

国家基準点である三角点や水準点の測量データの整備による測地系の維持管理業務

■関連URL

水準測量：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/suijun-top.html>

地殻変動補正：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/chikakuhendo-hosei.html>

実習 2

地磁気測量

(本院・測地部物理測地課)

キーワード

地磁気

データ解析

磁北

野外測定

つくば

■実習概要

目には見えない変化し続ける地磁気を測定し、そのデータを解析することで、日本全国の地磁気分布を明らかにする過程を体験する。

■実習のポイント

地磁気専用の測量機器やGNSS測量機器及びトータルステーションを用いた測定の体験実習を通して「地図の北（真北）」と「方位磁針の北（磁北）」の差（偏角）の求め方を習得する。また、磁場の分布図（磁気図）の作成過程における地磁気データの解析を体験することで、日本全国の地磁気分布の推定方法及び地磁気分布の利活用について理解を深め、事業の目的や国土地理院の役割を学ぶ。

■実習期間（5日間）

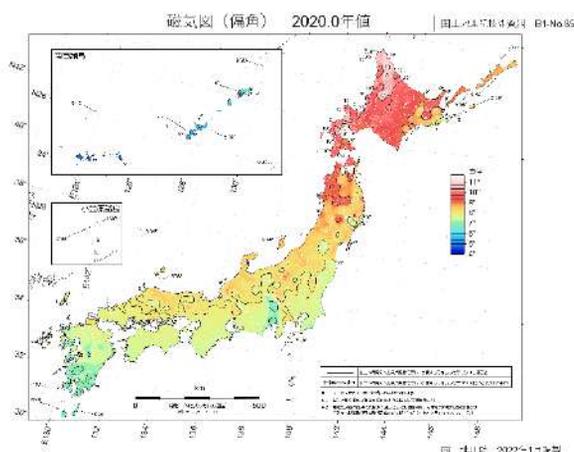
- 令和6年8月26日（月）～8月30日（金）

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地磁気に関心があること
- ✓ 屋外作業ができること
- ✓ 職員とコミュニケーションをとりながら意欲的に実習に臨めること



基準磁気点「萩原」（岐阜県）での観測の様子



磁気図2020.0年値（偏角）

■物理測地課の業務

地磁気測量による磁気図の整備

重力測量等による我が国の重力基準や、標高の基準である精密重力ジオイドの整備

■関連URL

https://www.gsi.go.jp/buturisokuchi/geomag_index.html

https://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/geomag/menu_04/index.html

実習 4

宇宙の電波で地球をはかる VLBI観測業務

(本院・測地部宇宙測地課)

キーワード

国土を測る

VLBI

国際協働

地球物理学

電波天文学

■実習概要

VLBIアンテナの見学や操作、データ処理や解析の実習を通じて、国際VLBI観測の目的と役割、我が国の位置の基準の最上流である事業について理解します。

■実習のポイント

国際協力のもと実施されるVLBI観測は、緯度・経度の基準となる座標系の構築やGNSSなどの人工衛星の運用に不可欠な地球姿勢の測定を目的に行われます。実習では、アンテナの見学や操作、データ処理等を通じてVLBIの業務を学ぶとともに、VLBI事業の目的や役割について理解を深めます。

■実習期間 (5日間)

- 令和6年7月29日 (月) ~8月2日 (金)
 - 令和6年8月19日 (月) ~8月23日 (金)
 - 令和6年9月2日 (月) ~9月6日 (金)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地球物理、天文、電気・電子工学などの分野に興味があること



アンテナの先端部にある受信機を間近で見学

石岡測地観測局にて実際にアンテナを操作

■宇宙測地課の業務

衛星SARによる地殻・地盤変動の監視、VLBI(超長基線電波干渉法)による国際観測と解析

■関連URL

<https://www.gsi.go.jp/uchusokuchi/vlbi.html>

実習 5

衛星SARによる国土全域の地殻・地盤変動の把握

(本院・測地部宇宙測地課)

キーワード

干渉SAR

地殻・地盤変動

地震

火山

リモートセンシング

■実習概要

衛星（だいち2号）データの解析を通じて、国土全域の地面の動きを面的に把握する干渉SAR技術とその役割について理解を深める。

■実習のポイント

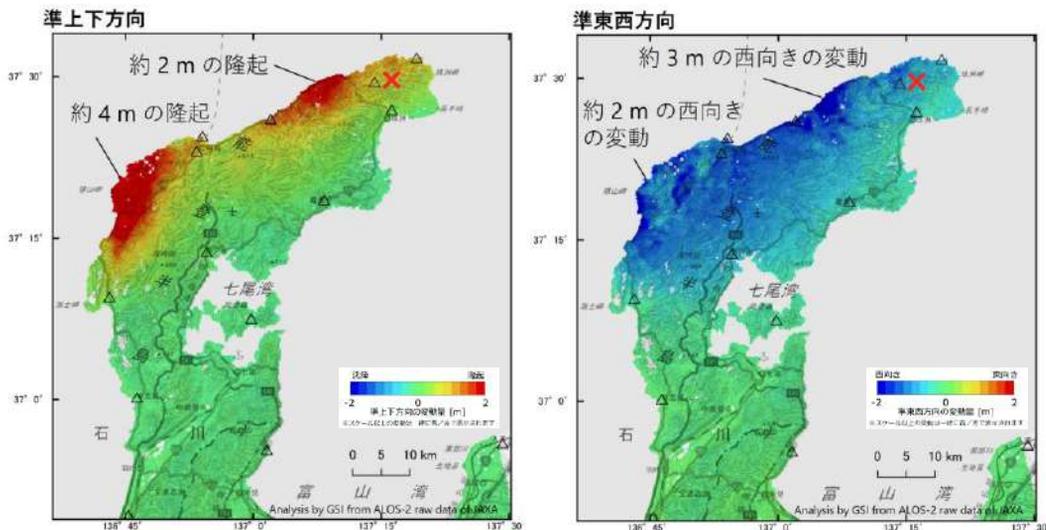
地震発生時または火山活動が活発化した場合を例として、衛星（だいち2号）の観測データの取得、SAR干渉解析、解析結果の提供までの一連の流れを体験する。これにより、干渉SAR技術の有効性や適用限界について理解を深めるとともに、国土地理院の事業における干渉SARの役割について理解を深める。

■実習期間（5日間）

- 令和6年7月22日(月)～7月26日(金)
- 令和6年8月5日(月)～8月9日(金)
- 令和6年8月26日(月)～8月30日(金)
- 令和6年9月9日(月)～9月13日(金)

■受入条件等

- ✓ UNIX系OSの基本操作ができることが望ましい
- ✓ 地殻・地盤変動や衛星画像等を用いたりリモートセンシング技術に関心があること



衛星SARで検出した地殻変動（令和6年能登半島地震）

■宇宙測地課の業務

衛星SARによる地殻・地盤変動の監視、VLBI(超長基線電波干渉法)による国際観測と解析

■関連URL

https://www.gsi.go.jp/uchusokuchi/gsi_sar.html

実習 6

GNSS観測データの品質調査・解析業務

(本院・測地観測センター 電子基準点課)

キーワード

電子基準点

GNSS

GEONET

■実習概要

電子基準点等で観測したGNSSデータから、精密な観測局位置及び衛星軌道位置を推定し、高精度測位に必要なデータセットの作成を体験する。また、観測環境及びデータ品質の調査業務を体験する。

■実習のポイント

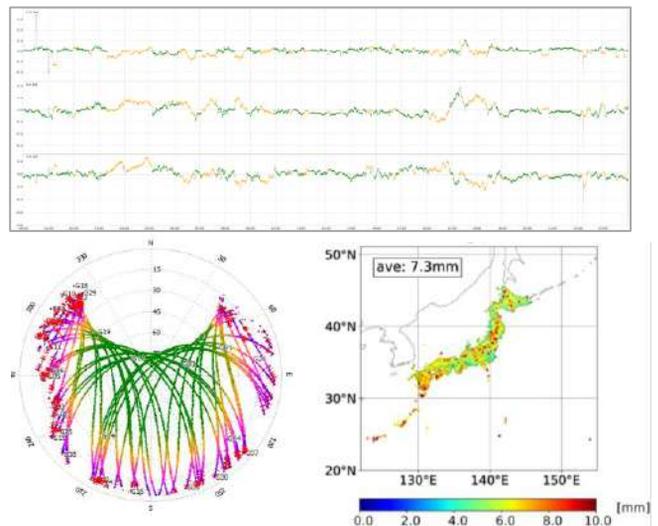
- ・自ら電子基準点データの品質調査及び解析を実施することで、どのような観測環境がふさわしいか理解し、また、精密な位置決定に必要な手順を習得する。合わせて、このようにして得られた電子基準点の位置情報が、国土の維持管理や防災対応にどのように活用されているのか理解を深める。

■実習期間

- ・9月 2日～9月 6日 (5日間)
 - ・9月 9日～9月13日 (5日間)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ GNSSや地殻変動に興味があること



■電子基準点課の業務

- ・全国1,300か所に設置された電子基準点の維持・管理
- ・観測局及び衛星軌道位置の推定
- ・観測データ、解析結果の提供

■関連URL

- ・電子基準点 (国土地理院ホームページ)
<https://www.gsi.go.jp/eiseisokuchi/eiseisokuchi41012.html>

実習 7

電子基準点等による地殻変動監視と潮位観測の業務

(本院・測地観測センター地殻監視課)

キーワード

地殻変動監視

電子基準点

潮位観測

験潮

■実習概要

電子基準点（GNSS連続観測局）等を用いた地殻変動監視、験潮による潮位観測の業務を体験する。

■実習のポイント

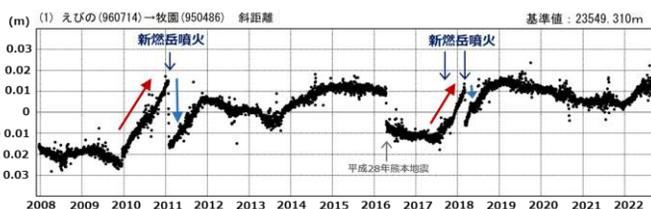
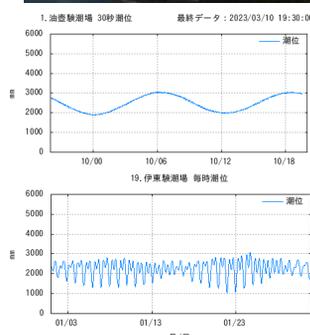
- ・ 電子基準点の解析結果（日々の座標値等）をもとに、作成ツールを用いて地殻変動のベクトル図（水平、上下成分）や成分変化グラフを作成し、地震や火山活動に伴う地殻変動量や変動方向について理解を深め、電子基準点を用いた地殻変動監視の業務を体験する。
- ・ 験潮場の構造、潮位データの取得方法、潮位データから得られる上下変動について理解を深め、験潮の業務を体験する。

■実習期間（5日間）

- ・ 令和6年7月29日（月）～8月2日（金）

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ GNSSや地殻変動に興味があること



■地殻監視課の業務

地殻監視課では、電子基準点や験潮場等を活用し、日本列島の地殻変動を監視している。

■関連URL

- ・ 日本列島の地殻変動
<https://www.gsi.go.jp/kanshi/index.html>
- ・ 潮位を測る（験潮）
https://www.gsi.go.jp/kanshi/tide_index.html

実習 8

簡易GISソフトを利用した地理空間情報の活用方法の検討 (本院・地理空間情報部情報企画課)

キーワード

地理

GIS

体験・見学

測量成果

■実習概要

簡易GISソフトを利用した地理空間情報の重ね合わせの方法の検討

■実習のポイント

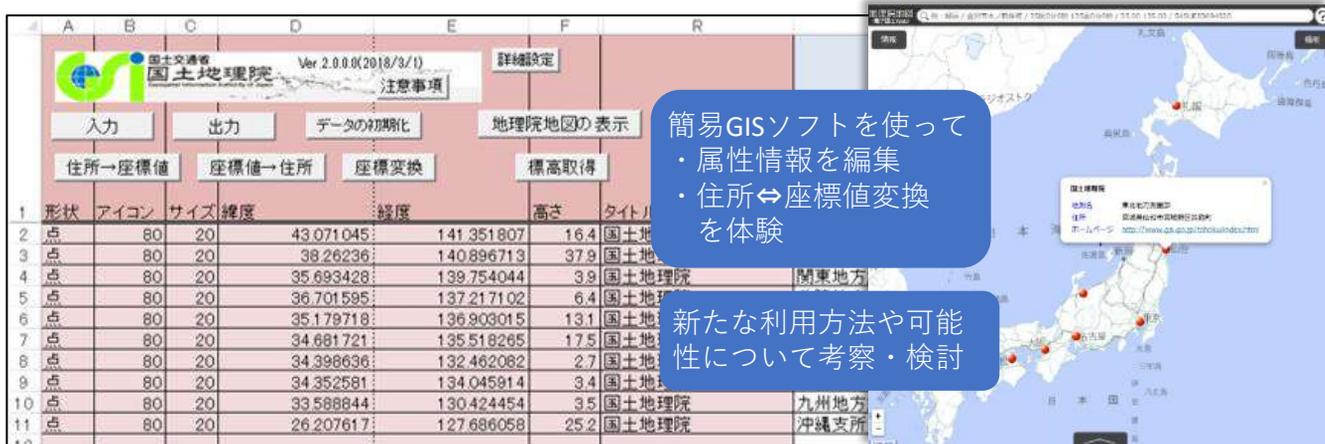
簡易GISソフト（地理院タイル活用ツール）を使用して測量成果や資料を表示し、その重ね合わせ方法を検討することで、地理空間情報の知識を深め、地理空間情報の整備・普及の有用性を認識するとともに、新たな利用方法や可能性について考察・検討します。

■実習期間（5日間）

- ・ 令和 6年7月29日（月）～8月2日（金）
 - ・ 令和 6年8月19日（月）～ 23日（金）
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ ・ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ ・ MicrosoftWord、Excelの操作ができること
- ✓ ・ GISソフトの操作経験があれば望ましい



形状	アイコン	サイズ	緯度	経度	高さ	タイトル	
点		80	20	43.071045	141.351807	16.4	国土地理院
点		80	20	38.26236	140.896713	37.9	国土地理院
点		80	20	35.693428	139.754044	3.9	国土地理院 関東地方
点		80	20	36.701595	137.217102	6.4	国土地理院
点		80	20	35.179718	136.803015	13.1	国土地理院
点		80	20	34.681721	135.518265	17.5	国土地理院
点		80	20	34.398636	132.462082	2.7	国土地理院
点		80	20	34.352581	134.045914	3.4	国土地理院
点		80	20	33.588844	130.424454	3.5	国土地理院 九州地方
点		80	20	26.207617	127.686058	25.2	国土地理院 沖縄支所

■情報企画課の業務

地域連携及び地理院タイル活用ツールの管理・運用に関する業務

■関連URL

<https://geolib.gsi.go.jp/node/2459>

実習 9

測量成果の管理と公開に関する実習

(本院・地理空間情報部情報サービス課)

キーワード

地図

空中写真

基準点

閲覧サービス

■実習概要

測量成果の管理と公開に関する実習

- 閲覧謄抄本交付窓口業務に関わる体験
- 基準点成果等の管理に関わる体験
- 地図・空中写真の管理に関わる体験
- 公共測量成果の管理に関わる体験

■実習のポイント

職場体験では、情報サービス課の所掌する測量成果の管理と公開に関する業務を体験することで、保管している明治時代からの測量成果の管理と公開の重要性について理解を深めます。

■実習期間 (5日間)

- ・ 令和6年8月5日 (月) ~8月9日 (金)
 - ・ 令和6年9月2日 (月) ~9月6日 (金)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ ワード、エクセルの基本的操作ができること
- ✓ 地図に興味があること



■情報サービス課の業務

地理空間情報の管理及び公開に関する業務

■関連URL

地理空間情報ライブラリー：<https://geolib.gsi.go.jp/>
基準点成果等閲覧サービス：<https://sokuseikagis1.gsi.go.jp/>
地図・空中写真閲覧サービス：<https://mapps.gsi.go.jp/>

実習10

地理院地図に関する実習

(本院・地理空間情報部情報普及課)

キーワード

地理

ウェブ地図

ベクトルタイル

地理院地図

■実習概要

国土地理院が整備した地理空間情報を広く一般に活用していただくことを目的として、地理院タイルの活用例に関する調査及び新たな活用案を検討し、地理院地図やベクトルタイルについての理解を深める。

■実習のポイント

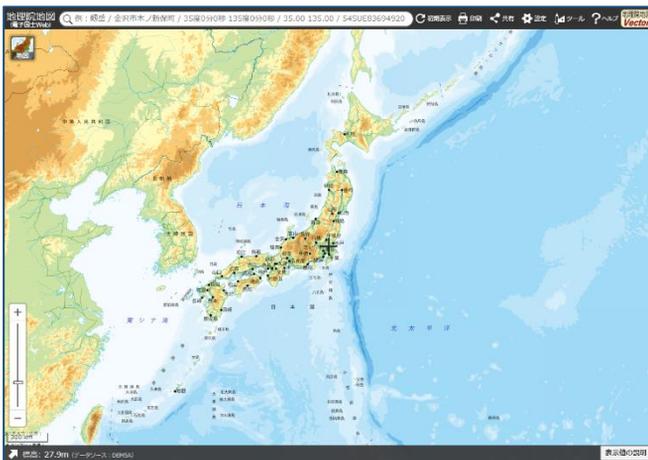
- ・ 地理院地図、ベクトルタイルを含む地理院タイルの理解
- ・ 外部サイトでの活用例から考えられる、地理院地図や地理院タイルの新たな活用検討
- ・ 各種ウェブ地図サイトにおけるUI、機能等の改良点の検討
- ・ 最適化ベクトルタイルのデータ仕様の改良点や、活用推進に向けた検討

■実習期間 (5日間)

- ・ 令和6年7月22日(月)～7月26日(金)
 - ・ 令和6年7月29日(月)～8月2日(金)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ ウェブ地図に関心があること



■情報普及課の業務

地理空間情報の提供・利用の推進に関する業務

■関連URL

地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>

最適化ベクトルタイルデモサイト <https://gsi-cyberjapan.github.io/optimal_bvmap/>

実習11

電子国土基本図（地図情報）の整備・更新業務

（本院・基本図情報部国土基本情報課）

キーワード

地図情報

電子地形図

地理院地図

GIS

つくば

■実習概要

電子国土基本図（地図情報）の整備・更新に関する業務

■実習のポイント

国土基本情報課では、道路、建物など電子地図上の位置の基準となる基盤地図情報と電子国土基本図（地図情報）を一体で整備し、地理院地図等として公開している。

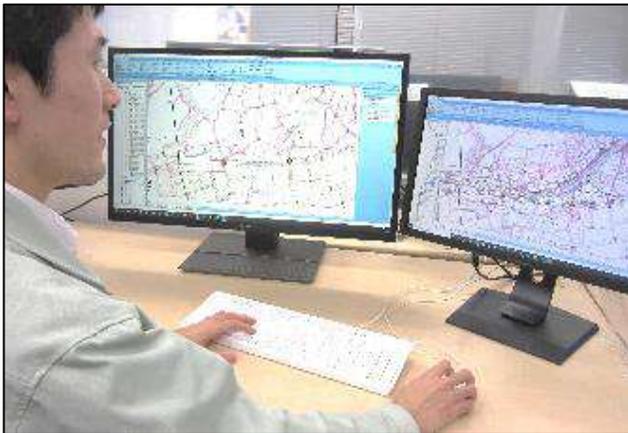
実習では、電子国土基本図（地図情報）の整備・更新に関する業務を体験し、地図の整備手法、GISソフトの操作方法及び電子国土基本図（地図情報）の活用技術について理解を深める。

■実習期間

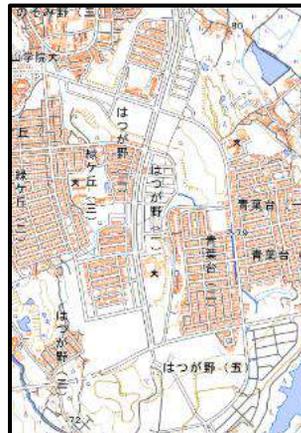
- ・ 7月29日～8月2日(5日間)
 - ・ 8月5日～8月9日(5日間)
 - ・ 8月19日～8月23日(5日間)
- のいずれか

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地図に興味があること



地図整備の様子



更新前



更新後

■国土基本情報課の業務

電子国土基本図（地図情報）の更新・管理

■関連URL

https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/mapinfo_what.html

実習12

地図の編集作業に関する調査及び実習業務

(本院・基本図情報部基本図課)

キーワード

国土を描く

地理院地図

地図編集

電子地形図

つくば

■実習概要

電子地形図50000と電子地形図20万の編集体験、地図に関連した調査等

■実習のポイント

基本図課では、電子国土基本図から、日本全国の2万5千分1地形図などの紙の地図や、電子地形図50000や電子地形図20万などの小縮尺の地図を作成している。本実習では、地図の縮尺に応じた作成方法や表示項目の違い等の理解を深め、広域の概況を俯瞰する「基本図」を通じて、事業の目的や国土地理院の役割を学ぶ。

■実習期間 (5日間)

- 令和6年8月19日(月)～8月23日(金)

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地図に興味があること



■基本図課の業務

電子地形図50000の整備、電子地形図20万・数値地図(国土基本情報20万)の管理・更新、地理院タイルの更新、2万5千分の1地形図の更新

■関連URL

<https://www.gsi.go.jp/MAP/index.html>

実習13

地形図の登山道修正に係る検討及び資料作成

(本院・基本図情報部地名情報課)

キーワード

登山道

ビッグ
データ

地理情報

電子国土
基本図

地理院地図

■実習概要

- 登山者の移動経路情報のビッグデータを活用した、地形図の登山道の修正に係る検討及び資料作成。

■実習のポイント

登山者の移動経路情報に基づいた登山道データ作成に関して、企画立案からデータ作成までの一連の流れを体験し、地理院地図等へ登山道を掲載する業務について理解を深める。

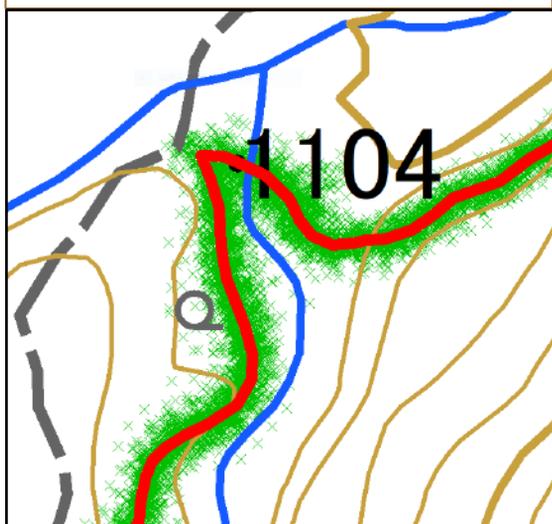
■実習期間 (5日間)

- 令和6年9月9日 (月) ~ 9月13日 (金)

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地図に興味があること

ビッグデータ
(登山者の移動経路情報)
から登山道データを作成



実習内容

地理院地図等の
更新及び公開

地図への反映



■地名情報課の業務

国土の地理情報に関する資料収集及びデータベースの更新

■関連URL

<https://www.gsi.go.jp/common/000193305.pdf>

実習14

空中写真・3次元点群データ等作成補助業務

(本院・基本図情報部画像調査課)

キーワード

空中写真

オルソ画像

航空レーザ
測量

3次元点群
データ

■実習概要

空中写真撮影・オルソ画像作成・3次元点群データの整備、点検、資料作成の補助

■実習のポイント

当課の業務である空中写真撮影、オルソ画像作成、3次元点群データについて、整備・点検の実習を行い、どのようにデータが作成されているのか理解を深める。
空中写真撮影に関しては、構内に展示している測量用航空機「くにかぜ」の見学も予定している。

■実習期間 (5日間)

- 令和6年7月29日(月)～8月2日(金)

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 空中写真や航空レーザ測量に興味があること



■画像調査課の業務

空中写真・オルソ画像・3次元点群データの整備

■関連URL

<https://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa40001.html>

<https://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa41006.html>

https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/Laser_index.html

実習15

地図データ等の高度化や整備の効率化を目的に 収集・作成したデータ等の解析・整理

(本院・基本図情報部 地図情報技術開発室)

キーワード

地図を創る

調査・技術開発

つくば

■ 実習概要

地図データの整備に関する調査・開発業務の補助。

■ 実習のポイント

- ▶ 国土地理院が整備する地図データの高度化や整備効率化に関する測量技術（地図作成を含む）に触れることができる。
- ▶ 実習時期に当室が取り組んでいる開発業務におけるデータ解析や整理を行う。
（地図データ作成に関する知識は必須ではない）

■ 実習期間（5日間）

- ・ 令和6年7月29日（月）～8月2日（金）
 - ・ 令和6年9月2日（月）～9月6日（金）
- のいずれか

■ 受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地図に興味があること

◆ 昨年度実習の一例（毎年度、実習内容は変わります。）



- ✓ 航空レーザ測量の3次元点群データを用いて、3次元建物モデルデータを作成。
- ✓ 建物範囲内にある3次元点群の最高値(MH)と中央値(RH)のそれぞれで高さ情報の付与を試行。
- ✓ 作成過程における課題抽出や、作成したデータの利用方法を検討。

作成された3次元建物モデル オレンジ：MH、ピンクRH

■ 関連URL

令和4年度調査研究年報のWebページ

https://www.gsi.go.jp/REPORT/TECHNICAL/r4kenkyu-nenpo-r4_list.html

※ 基本図情報部の下に記載の6課題が令和4年度に当室が実施した業務です。

実習16

湖沼図作成、国土環境モニタリング業務

(本院・応用地理部地理調査課)

キーワード

湖沼

湖沼データ

衛星画像

GIS

■実習概要

- ・湖沼図（湖沼データ）作成
- ・衛星画像を用いた国土環境モニタリングの試行

■実習のポイント

国土の基本的な構成要素である湖沼の地図である湖沼図（湖沼データ）作成について、一連の作成工程を湖沼調査で得られた音響測深データを用いて体験する。

また、国土の環境を継続的に把握・監視し、国土の環境と開発に関する有用な情報等を提供することを目的とした、衛星画像を用いたモニタリングを体験する。

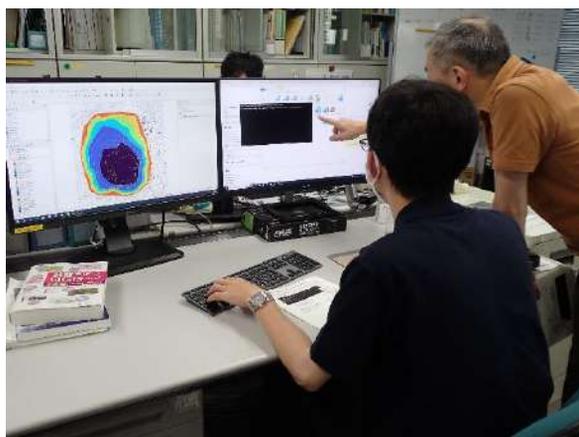
これにより、環境保全等に資する地理空間情報の整備について理解を深める。

■実習期間（5日間）

- ・令和6年7月29日（月）～8月2日（金）

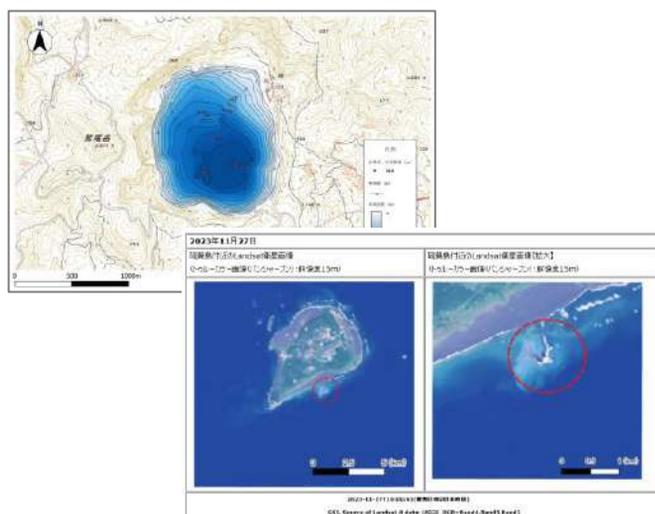
■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ GISソフトの操作経験があること
- ✓ 職員とコミュニケーションをとりながら意欲的に実習に臨めること



実習風景の様子

湖沼図作成イメージ



衛星画像を用いたモニタリングイメージ

■地理調査課の業務

土地条件図、治水地形分類図、火山土地条件図、湖沼図などの様々な主題図の整備・提供

■関連URL

湖沼調査 <<https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/gsilake.html>>

国土環境モニタリング <https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/eodas_index.html>

実習17

自然災害伝承碑利活用促進のためのコンテンツ作成 (本院・応用地理部地理情報処理課)

キーワード

防災

防災地理

自然災害伝承碑

地図作成

■実習概要

自然災害伝承碑に関連する資料を収集し、自然災害伝承碑の利活用を推進するために必要なコンテンツを検討・作成する。

■実習のポイント

- ・自然災害伝承碑ホームページや各自が収集した資料をベースに、自然災害伝承碑の利活用を促進するためにどのような取組が必要であるか検討を行い、業務課題の発見と解決策の検討に取り組む。
- ・応用地理部が提供する多様なコンテンツの理解を深め、それらの情報をどのように用いれば効果的に対象に「伝わる」かを考える。

■実習期間 (5日間)

- ・令和6年8月26日(月)～8月30日(金)

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 防災や地図作成に興味があること
- ✓ 自然災害伝承碑に興味があること



自然災害伝承碑HP内の活用事例ページで紹介している事例



自然災害伝承碑の利活用を促進するコンテンツの例
 (自然災害伝承碑から災害リスクを考えるポイント)

■地理情報処理課の業務

地形特性情報及び災害履歴情報等の整備・管理・提供、災害リスク情報配信サイトの管理・運営、防災地理教育支援

■関連URL

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>
 (国土地理院 自然災害伝承碑のホームページ)

https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_utilization.html
 (国土地理院 自然災害伝承碑の活用事例)

実習18

防災・地理教育支援に関する業務

(本院・応用地理部地理情報処理課)

キーワード

防災教育

地理教育

■実習概要

・土地の成り立ちがわかる主題図を通じて、防災・地理教育支援に有用な資料やコンテンツの作成及びウェブサイトの修正案の作成を行う。

■実習のポイント

- ・「地理教育の工具箱」を例に防災・地理教育支援コンテンツ等の素案作成や、アクセシビリティ等を考慮したウェブサイトの修正案の作成を体験する。
- ・国土地理院が整備する地理空間情報やコンテンツの普及に向けた活動に関する理解を深める。
- ・防災・地理教育支援の取組内容を理解し、実習にあたっては、相手に伝えることを意識して取り組む。

■実習期間 (5日間)

・令和6年8月26日(月)～8月30日(金)

■受入条件等

- ✓ 基本的なパソコン操作ができること
- ✓ 地形を用いた防災地理教育に興味があること

各種コンテンツの紹介

地図や地形、防災に関する資料、教育情報の方向性、国土地理院のコンテンツやツールについて紹介するページです。



このことから大まかに地図で学ぶ防災ポータル

教育関係等は地理教育支援コンテンツ

教科書出版会社や学生は最新図解やセミナー・ワークショップのご案内

人口はこちら

人口はこちら

人口はこちら

目的

地図で学ぶ防災ポータル	地理教育支援コンテンツ	図解やセミナー・ワークショップの案内
・災害の過程	・小学校～4年級	・教科書・出版社への依頼
・災害に関する	・小中学生	・学生向け情報発信
・災害の予防	・高校生	・学生向け情報発信
	・大学生	
	・大学院生	
	・就職・転職や留学	
	・その他(留学)	

一目瞭然！イラストで学ぶ過去の災害と地形

防災水

地理教育の工具箱



白地図やオリジナルの相手本地図が簡単につくれるよ。

ステップ① 地理系地区の右上にある「地理院地図(Vector)」をクリック

ステップ② おすすめの地図の「白地図」をクリック

ステップ③ 「詳細」と「編集」をクリックして必要な地物のみ着色。

地図で「勉強」をしているみたいで楽しい。

④ ⑤ ⑥

⑦ ⑧ ⑨ ⑩

⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

■地理情報処理課の業務

地形特性情報及び災害履歴情報等の整備・管理・提供、災害リスク情報配信サイトの管理・運営、防災地理教育支援

■関連URL

地理教育の工具箱：<https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/index.html>

応用地理部 X (旧twitter)：https://twitter.com/gsi_oyochiri